



知的障害のある人にスポーツを

「2015年 第2回スペシャルオリンピックス日本 東海・北信越ブロック 夏季ブロック大会 in 愛知」

大会要項 (第12版 2015年5月18日 改定)

1. 大会名称

2015年 第2回スペシャルオリンピックス日本 東海・北信越ブロック
夏季ブロック大会 in 愛知

愛称 (略称)

スペシャルオリンピックス 東海・北信越ブロック 2015 愛知

2. 大会スローガン

つながろう みんなの手、羽ばたけ未来へ！

3. 開催趣旨

- (1) 東海・北信越ブロック内で日常のスポーツプログラムに参加しているアスリートが日頃のトレーニングの成果を発表し、更なる目標を得る機会とする。
- (2) 大会を通してアスリートの自立性と社会性を高め、コーチやボランティアを含む全ての参加者が交流し、理解と友好を深める。
- (3) スペシャルオリンピックスの活動内容やその素晴らしさを広く東海・北信越ブロック各県下にアピールし、アスリートに対する理解を深めると共に、より多くの人々が互いの違いを認め合い、包み込む社会づくりを促進する機会とする。

4. 開催日と実施会場

開催日 2015年10月31日(土) から 11月1日(日)

会場 刈谷市総合運動公園 (アリーナ、スタジアム、サッカー場)、
名古屋市障害者スポーツセンター、スポルト名古屋、
フォレスタヒルズテニスコート

5. 開催競技

水泳競技、陸上競技、サッカー、バスケットボール、バドミントン、ボウリング、
テニスの7競技

6. 参加地区

スペシャルオリンピックス日本 東海・北信越ブロック内地区組織
(石川、長野、愛知、新潟、三重、富山、静岡、岐阜、福井)



知的障害のある人にスポーツを

7. 参加人員（予定） 1,520名
アスリート 435名 コーチ 136名 大会役員 19名
ボランティア500名 競技役員 60名 ファミリー・応援団 370名

8. 主催 / 主管
公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・愛知

9. 共催
スペシャルオリンピックス日本 東海・北信越ブロック内地区組織
（石川、長野、愛知、新潟、三重、富山、静岡、岐阜、福井）

10. 運営主体
2015年 第2回スペシャルオリンピックス日本 東海・北信越ブロック
夏季ブロック大会 in 愛知 実行委員会

(1) 実行委員会の責任者

実行委員会の執行を統制するにあたって次の正副委員長をおく

- ① 実行委員長をおく 1名
- ② 副実行委員長をおく 9名（最大）

実行委員長を補佐する副実行委員長は主催各地区より1名選任

(2) 大会役員

実行委員会を統括するに当たって次の役員をおく

- ① 大会会長 1名（主管団体の理事長）
- ② 大会副会長 2名（同上の指名）
- ③ 大会名誉会長 1名（特別後援団体の長）
- ④ 大会顧問 13名（愛知県・名古屋市・刈谷市公的機関の長）

大会会長は大会名誉会長並びに大会顧問を委嘱する

大会名誉会長並びに大会顧問の委嘱期間は1年未満とする

*委嘱期間は2014年11月3日～2015年11月1日迄

11. 特別後援
公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

12. 後援
愛知県、名古屋市、豊田市、刈谷市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、豊田市教育委員会、刈谷市教育委員会、公益財団法人愛知県体育協会、公益財団法人名古屋市体育協会、公益財団法人豊田市体育協会、刈谷市体育協会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、社会福祉法人豊田市社会福祉協議会、社会福祉法人刈谷市社会福祉協議会、一般社団法人中部経済連合会、名古屋商工会議所、豊田商工会議所、刈谷商工会議所

13. 協力競技団体

一般社団法人愛知水泳連盟、一般財団法人愛知陸上競技協会、公益財団法人愛知県サッカー協会、愛知県テニス協会、愛知バスケットボール協会、愛知県バドミントン協会、愛知県ボウリング連盟、愛知 FID バスケットボール連盟、名古屋市水泳連盟、西三河陸上競技協会、刈谷市陸上競技連盟、刈谷市サッカー連盟、豊田市テニス協会、刈谷市バスケットボール連盟、刈谷市バドミントン連盟

14. 協力企業（※今後、記載変更の可能性有り）

トヨタ自動車(株)、(株)デンソー、(株)豊田自動織機、アイシン精機(株)、(株)ジェイテクト、豊田通商(株)、トヨタ紡織(株)、豊田合成(株)、愛知製鋼(株)、トヨタ車体(株)、名古屋鉄道(株)、中部電力(株)、ホシザキ電機(株)、本州建設(株)、OMC(株)、(株)サンセイアールアンドディ 他

15. 助成

この事業は、公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金（あいちモリコロ基金）の助成金を受けています。

16. 参加資格

(1) アスリート

- ① 各地区組織にアスリートとして登録し、開催日当日 8 歳以上であること。
- ② 2014 年 1 月 1 日から 2015 年 7 月 31 日の期間内にスペシャルオリンピックス日本の地区組織が提供しているスポーツトレーニングプログラム（大会に参加する競技のプログラム）に、8 週間以上にわたり 8 回以上参加した経験がある者。但し宿泊形式でのトレーニングプログラムの場合は、2 時間程度のトレーニングプログラムを 1 回と数えることとする。
- ③ 大会参加にふさわしい身体状況にあること。
- ④ 大会への参加に関して、アスリート本人の同意が得られていること。但し、アスリートが 20 歳未満の場合は、保護者の同意を必要とする。
- ⑤ 上記の条件を満たし、各地区組織にて参加が適格であると認められた者。

(2) コーチ

- ① 当該スポーツ競技のスペシャルオリンピックス日本認定コーチであること。（2015 年 9 月 1 日現在で認定コーチの資格要件を満たし、各地区組織が認められた者も可とする）
- ② 大会参加にふさわしい身体状況にあること。
- ③ 上記の条件を満たし、各地区組織にて参加が適格であると認められた者。

(3) 団長・副団長および追加スタッフ

- ① スペシャルオリンピックス日本の地区組織に登録していること。
- ② スペシャルオリンピックス日本の提供する「ゼネラルオリエンテーション」および「ア

- スリート理解」を受講していること。
③ 大会参加にふさわしい身体状況にあること。
④ 上記の条件を満たし、各地区組織にて参加が適格であると認めた者。

17. 選手団構成基準

- ① 各地区選手団には必ず責任者として団長1名をおく（ヘッドコーチ・コーチ兼務可）。
- ② 必要に応じて副団長（1名以内）をおくことができる。
- ③ 原則として各競技アスリート4名に対してコーチ1名とする。但し、アスリートの男女構成でコーチの数を変更する場合がある。
- ④ 各地区、エントリー競技ごとに必ず競技担当者をおく。（ヘッドコーチ兼務可）
- ⑤ 追加できるスタッフの員数は全アスリート数の20%の範囲とする。
（但し、選手団の安全確保のために増員が必要と判断した地区は、運営主体(大会事務局)に申し入れ、承認を得るものとする。）
- ⑥ 競技・移動、宿泊その他においてアスリートの安全が確保でき、また、参加者全員が本大会を楽しむことができるよう選手団を構成する。

18. 競技規則

本大会は公式スペシャルオリンピックス夏季スポーツルール（2014年3月改訂版）及び各競技の国内競技団体競技規則最新版に沿って行う。但し各競技のルール委員会で、本大会に関するルールを定めた場合は、このルールが優先する。

19. 選手団クォータ(参加枠)

本大会では競技においては各地区選手団に参加人数を設ける場合がある。

20. 選手団の参加料

選手団役員・コーチ・アスリート・追加スタッフ 1名につき5,000円とする。

(付記)

大会事務局

「2015年 第2回スペシャルオリンピックス日本 東海・北信越ブロック
夏季ブロック大会 in 愛知 実行委員会」
〒448-0856 刈谷市寿町4-303 カメリオンビル1st 3階
TEL 0566-93-1240 FAX 0566-93-1244
e-mail soaichi2015@able.ocn.ne.jp

主管事務局

公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・愛知 事務局

〒467-0827 名古屋市瑞穂区下坂町2-9 丸美タウンマンション堀田 1階
TEL 052-882-5150 FAX 052-882-5160
e-mail soaichi@sage.ocn.ne.jp